

研究学校紹介

一人一人が主体的に学習
に取り組む態度を育てる
授業の研究

川俣町立川俣小学校
(昭和五十・五十一年度
福島県教育委員会指定)

一、研究の内容及方法

(一) 研究の内容

- ① 国語科における(特に読みを中心とした)主体的学習態度の形成をめざす授業の研究に取り組む。
- ② 授業実践をおして指導内容の精選重点化を図り、読みの領域のカリキュラムの改善を行う。

(二) 研究の進め方

- ① 基本的な考え方を確立する。
ア、主体的学習態度
児童一人一人が学習に対してめあてを持ち、自分で思考操作し責任をもって積極的に立ちむかう態度
- イ、主体的な読み
自分の経験をもとに自分の立場から文章を読み、ときほぐし、その過程で疑問をもったり感動したり、又は判断しながら、自分なりの結論や方向を見出し、相手の読みのすぐれたところをとり入れて自分を高めようとする読み

- ウ、教育課程改善の必要性
- 課題を解決していく学習方法

を重点に研究を進めていくと、「問題を意識し課題を発見し課題を設定する」という、課題つかみの段階」で、いままで以上に時間がかかることが予想される。

● このため、時数調整の上からも学習内容そのものからも、教材の系列化を考え、より基本的な教材を中核とする新たな指導計画が必要になってくる。



ひとり読みの段階が重視される

- ② 具体的なテーマを設定し、実践研究をおしてその成果を明らかにする。
- ア、課題に気づき解決していく方法の徹底

- 課題に気づかせる方法
- 課題を解決していく方法を明らかにし
- 朝の学習訓練をおして徹底する。
- イ、指導事項の重点を洗い出すための教材研究手順の明確化
(研究のあゆみ P 8 参照)

課題解決学習の系列化

	低 学 年	中 学 年	高 学 年
課 題	登場人物の行動を追うことによって教師といっしょに問題を見つめること(おもしろいところ)	段落ごとの問題さがしを経て、グループ全体で討議し、しぼり出されたもの(場面から)	各個人問題を解決すべく、全体で討議し、しぼり出されたもの(作品全体のやまから)
解決方法	・絵や文章の中で語句を中心に考えること ・おもしろいところを声を出して読んでみる ・おもしろいところを演じてみる	・登場人物の会話文から場面と場面とを比較してみること ・中心人物の行動と心情の関係を読みとることによって(細部読み)	・登場人物の行動と心情の変化を読みとること ・常により全文を構造的に読みとることによって(構造読み)
課題解決	・登場人物になりきって動作化できる ・場面によりよめる ・おもしろいところを声を出して読む	・表現に即して場面や情景を描き、登場人物の喜怒哀楽に表情をよめる	・表現に即して情景をありありと思いうかべ、登場人物の心情のべらるる状態
学習の整理	・本時をふりかえってなることか ・わかったことか ・おもしろいところか ・人物になりきって	・課題にたちかえって整理すること ・はじめの考えと比べて ・予想にふりかえって	・課題についての見方、考え方がどのようになっただか整理すること ・単元全体の中へ位置づけること ・自分の考えをノートづくりをよめること ・本時との関連にたち、次時の課題を修正
次時予告	・教師から次時の課題を聞く	・みんなて話し合い次時の課題を見なおす	

- ウ、基本的指導過程の確立
- 単元全体の基本過程
- 一単位時間の基本過程
- 課題解決学習の系列化
- 二、成果と反省
- 「だれもができ、だれがやってもある程度の子供の変容が期待できる、フランスのとれた指導過程」が確立され、一定水準の「読み」の指導が継続的に展開されたことをまず喜ぶたい。
- 国語科学習の基礎・基盤ともいいうべき読字力・書字力も「会話は会話らしく、説明は説明らしく、間をとってはつきり」という音読重視の指導効果が出て、かなり向上してきているのも喜ぶべきことである。
- 本校によって定型化された貴重な資料は、今後、国語科の研究を志す学校に多くの暗示を与えてくれる。なかでも、①単元全体の基本的指導過程 ②問題解決学習の系列 ③「国語学習の手びき」は有益であろう。
- また、「教材研究による指導内容の精選と指導の重点化」と題する「指導計画の改善資料」も、じっくりと味わうべき内容をもっている。二年間の実践によって、いままでも指導時数をふやすべきもの二単元、減すべきもの六単元という数で、細かな指導計画が添えられている。教育課程の自校化とはまさにこういう真剣な継続的な営みなのである。
- (県北教育事務所指導課長樽井和雄)